

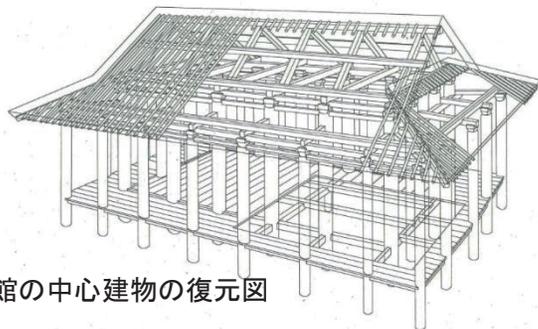
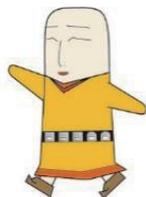
「知ってる？^{は ら かん が い せき}幡羅官衙遺跡」

No.5 貴賓の宿泊所

幡羅遺跡では、^{よんめん ひさし}四面に廂をもった^{ほったてばしらたてもあと}大きな掘立柱建物跡が確認されています。こうした構造の建物は格式が高いとされ、この建物を中心として、広い敷地が塀で囲まれています。この施設は、郡役所にあつたとされる^{たち}館と考えられます。館は、国司や公的な使節などの宿泊所とされ、幡羅遺跡の館は、こうした貴賓を迎えるのにふさわしい施設といえます。発掘調査で確認されたのは、柱が据えてあつた柱穴だけですが、その配置から、^{いりもや}入母屋の屋根をもち、床を張った建物のイメージが推定復元されました。



今回は
『^{しょくもつざんし}食物残滓』です。
お楽しみに！



館の中心建物の復元図